

(2021~2030)

御前崎市下水道事業経営戦略を策定しました

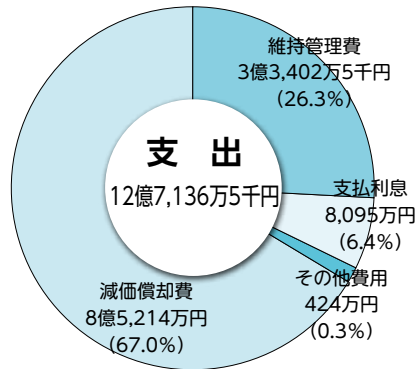
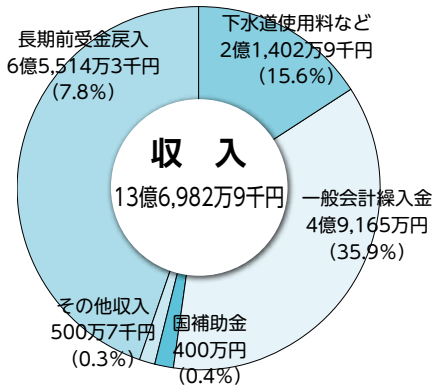
下水道事業の財政状況は、人口の減少による使用料収入の減少や施設の老朽化による更新費用の増大など、厳しさが増えています。

このような状況の中、将来にわたって市民サービスを安定的に継続するための指針として「御前崎市下水道事業経営戦略」を策定しました。

※市ホームページから本経営戦略をご覧ください。

■ 下水道事業の経営状況(令和元年度決算)

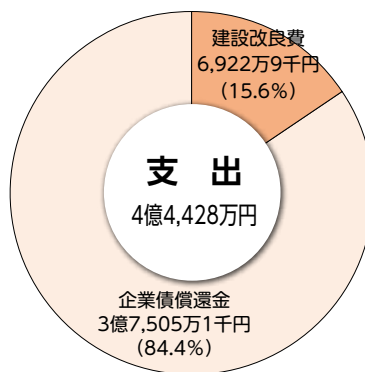
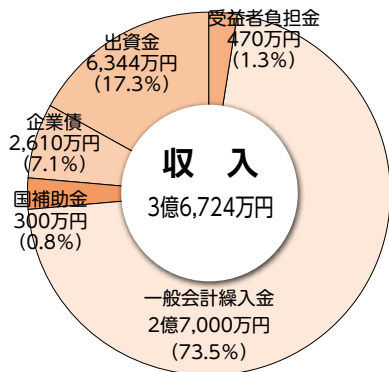
【収益的収支】



下水道使用料で維持管理費を賄っておらず、一般会計繰入金で補っています。

当期純利益9,846万4千円は今後の設備投資の財源として蓄えます。

【資本的収支】



毎年、多額の企業債を返済しており、一般会計繰入金で賄っています。収支不足額7,704万円は内部留保資金などで補いました。

■ **経費回収率** 経費回収率とは、使用料で回収すべき経費をどの程度賄えているかを表すものです。健全な経営を行うためには、100%以上であることが望ましい指標です。

下水道使用料単価	87.94 円 / m ³	× 100 = 34.7%	➡	目標値 (令和7年度)	66%
汚水処理原価	253.14 円 / m ³				

1 m³の汚水処理のために生じる損失 165.2円

■ 近隣市の下水道使用料 1期分 (2カ月40立方メートル使用した場合)

御前崎市	3,520 円/月	菊川市	5,280 円/月	掛川市	5,676 円/月
------	-----------	-----	-----------	-----	-----------

今後の取り組み

広域化・共同化を検討しつつ、民間の資金やノウハウの活用、施設の長寿命化などを進めるにあたっては投資の平準化や施設の合理化に取り組みます。また、一般会計に過度に依存することのないよう適正な使用料への見直しを検討するなど、経営改善に取り組んでいきます。